

なぜ、脳死・臓器移植は推進されるのか —いのち・倫理・人間の尊厳をめぐる—

講師 小松 美彦 (武蔵野大学教養教育部会教授)

脳死者から心臓や肝臓や腎臓などの臓器を切り出して重病者に移植する脳死・臓器移植は、日本では2010年の「改定臓器移植法」の施行以来、ほぼ1週間に1件のペースで行われるようになってきました。1999年に「旧臓器移植法」のもとではじめて実施されたさいは新聞の号外まで出ましたが、近年ではほとんど報道されることすらありません。脳死・臓器移植は国策的に推進され、もはや通常の医療に近いものになったからでしょう。

しかし、そうではあっても、脳死・臓器移植をめぐる核心的な問題は置き去りにされたままです。本当に脳死者は死んでいるのか、本当に重病者は臓器移植によって救命されているのか、そもそもなぜ脳死・臓器移植は“国策”として推進されるのか…、等々です。

当日は、脳死・臓器移植の基礎を踏まえたうえで、いのち・倫理・人間の尊厳の根本にかかわるこの一大問題について、みなさんとさまざまな角度から考えてみたいと思います。

日時 2015年 5月16日(土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円 (コーヒー込み)

* 要申込み * 5月13日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、webフォーム等でお申し込み下さい。



小松 美彦 (こまつ よしひこ)

1955年、東京都に生まれる。東京大学教養学部基礎科学科卒業。東京大学大学院理学系研究科・科学史科学基礎論専攻博士課程単位取得。玉川大学助教授、東京海洋大学大学院教授を経て、2013年より現職。現在の死生をめぐる問題を、歴史・倫理・科学などのさまざまな視座から考察してきた。

著書に、『死は共鳴する』(勁草書房)、『脳死・臓器移植の本当の話』(PHP新書)、『宗教と生命倫理』(共編著、ナカニシヤ出版)、『メタバイオエシックスの構築へ』(共編著、NTT出版)、『いのちの選択』(共編著、岩波ブックレット)、『生権力の歴史』(青土社)、『生を肯定する』(青土社)、『生命倫理の源流』(共編著、岩波書店)他。

- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介
 講演・発題
 15:00～15:30 コーヒーブレイク
 15:30～17:20 質疑とはなしあい
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2015年度 修学院フォーラム

「いのち」

第2回 9月26日(土)「赤ちゃんがほしい！不妊治療の進歩は、本当に女性に恩恵を与えているでしょうか～産科医の立場から」

講師：川北 かおり（西神戸医療センター産婦人科医長 周産期センター長代行）

「社会」

第1回 2016年1月10日(日)～11日(月祝)「核に依存しない世界に向けて」

「東北の被災地からの訴え」講師：川上 直哉（東北ヘルプ事務局長）

「核に依存しない社会の構築」講師：飯田 哲也（環境エネルギー政策研究所所長）

第2回 2016年1月30日(土)「日本の政治とキリスト教(仮)」講師：佐藤優（文筆家）

「福祉」

第1回 7月11日(土)「希望の介護—認知症を考える「中島塾」によろこそ」

講師：中島 健二（京都府立医科大学名誉教授、神経内科医師）

第2回 11月14日(土)「子どもたちに寄り添う」

講師：坪井 節子（カリヨン子どもセンター理事長）



【会場へのアクセス】

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2015年度 修学院フォーラム「いのち」第1回 参加申込書

(フリガナ)	
名前	所属
住所〒	
電話 () - ()	FAX () - 携帯 ()
電子メール:	@
通信欄:	